

## 竹とショウユコ粕混合ペレットを給与した泌乳牛における飼料消化と窒素出納

家木 一<sup>1</sup>、岸本 勇氣<sup>1</sup>、小池 正充<sup>1</sup>、佐野 善徳<sup>2</sup>、田所 研<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 愛媛畜試・<sup>2</sup> 新興工機株式会社

【目的】近年、管理の行き届かない放置竹林の侵食による景観や生態環境の悪化が社会問題となっている。これまでに演者らは、竹のペレット加工による乳牛飼料化について検討してきた(関西畜産学会第55~57回大会)。本試験では、竹とショウユコ粕混合ペレット(BSペレット)の泌乳牛への給与が飼料消化と窒素出納に及ぼす影響を検討した。【方法】BSペレットは、竹とショウユコ粕を3:1(乾物比)で混合したものを材料として調製した。供試動物は、ホルスタイン種成雌牛3頭(分娩後 $262 \pm 103$ 日)を用いた。試験処理は、粗飼料としてスーダン乾草を給与する対照区に対し、スーダン乾草の乾物比50%をBSペレットで代替する場合(BS区)あるいは竹のみを原料とするペレットとアルファルファヘイキューブで代替する場合(BA区)の計3処理を設け、予備期10日間・本期4日間の全糞尿乳採取による出納試験を行い、3×3ラテン方格法で処理の差を比較した。飼料給与は、TDN要求量の105%相当量を1日2回(8:00と16:00)分離給与した。【結果】BSペレットの採食性は良好で、乾物摂取量に処理間の差は認められなかった。泌乳成績、成分消化率および窒素出納にも処理による差は認められず、スーダン乾草の乾物比50%をBSペレットと代替しても乳牛の飼料消化と窒素出納に影響しないことが示された。